

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	救急現場における危険要因について（動物編）
3. 体験した事例の中心的要素	飼い犬に手を咬まれたとの通報で出動。現場到着時、両手から出血している飼主と若干興奮している犬（首輪の装着が不完全）が確認できた。犬との距離を保ちながら飼い主に拘束を指示していたところ現場到着した警察官が内容を聞かないうちにリード線を奪い取ってしまったため、犬の首輪が外れ私に向って駆けてきました。幸い犬は抱きつくだけでしたが、このあと傷病者の両親が来るまで周囲を走り回っていた。この事案では、咬傷における救急隊員等、更には通行人にも被害が及ぶ可能性があったものと思われ、けが等によるヒヤリハットと被害拡大による精神的なヒヤリハット体験でした。
4. 体験した事例の原因・理由	特異的な救急事案であったため、関係機関（警察官）との情報伝達不足と、被害拡大が起こりうる認知不足があったものと思われる。又、飼い犬ということと、若干の落ち着きを取り戻していた様子だったことから、大丈夫だろうという気持ちがあった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 20年 9月 15日 午後7時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：歩道を散歩中
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：救急隊員及び付近住民の咬傷による負傷事故
7. 事例体験時の活動	救急その他：犬の首輪が外れてから、確保されるまで []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：犬が完全に拘束されるまで、待機していたとき
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[46]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長]、同様の活動[初めて]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[30]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[5]年、階級[消防士長]、同様の活動[初めて]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[57]歳、勤続年数[35]年、現場経験年数[30]年、階級[消防司令]、同様の活動[初めて]、任務[車長]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	犬の首輪を完全装着するよう指示していた	傷病者へ
経過2	当事者BとC	犬が拘束されるまで待機するように指示	警察官へ
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いか?
ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いか?

たまたま、負傷事故にならなかった。その他: 犬が若干落ち着きを取り戻した様子が確認できたため

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：関係機関（警察官）に状況説明を行いながら静止させるべきであった

警察官にリード線を近くの立木に固定するように指示したが、無理にリード線を引っ張ってしまったために、首輪が外れ、当事者Aに向かって犬が走ってきた。

